環境・安全に関する取り組み (期間：2025 年 4 月～2026 年 3 月)

目標達成状況

>>>2025 年度の具体的目標と実績

ヤスハラケミカルでは、各工場での環境目標を数値設定・励行することで、事業活動全体における環境負荷の削減を推進しています。

活動テーマ	2025 年度目標	2025 年度実績	評価	2026 年度目標
環境マネジメントシステム(EMS)の推進	EMS 認証取得 3 工場の認証維持	EMS 認証取得 3 工場の認証維持	○	EMS 認証取得 3 工場の認証維持
省エネルギーの推進	エネルギー原単位 前年度比 1%削減	エネルギー原単位 前年度比 1.8%増加	×	エネルギー原単位 前年度比 1%削減
温室効果ガスの排出削減	CO_2排出原単位 前年度比 1%削減	CO_2排出原単位 前年度比 1.9%増加	×	CO_2排出原単位 前年度比 1%削減
産業廃棄物の削減	産業廃棄物 排出原単位削減	産業廃棄物 排出原単位 7.8%増加	×	産業廃棄物 排出原単位削減
	産業廃棄物 排出量削減	産業廃棄物 排出量 11.4%増加	×	産業廃棄物 排出量削減
化学物質の適正管理	PRTR 排出量削減	PRTR 排出量 0.9%減少	○	PRTR 排出量削減
	化学物質リスクアセスメントの継続実施	化学物質リスクアセスメントの継続実施	○	化学物質リスクアセスメントの継続実施
災害・事故	休業災害・事故ゼロ	休業災害 0 件 事故 0 件	○	休業災害・事故ゼロ
環境・社会報告書発行	年 1 回発行	6 月発行	○	―

○：目標を達成／×：目標を達成できなかった

無災害記録証授与制度

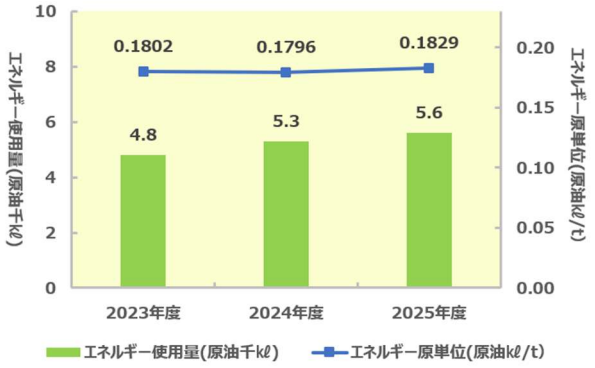
当社は、2002 年 1 月より当社独自の制度によって、安全意識の向上を目的に、規定の連続無災害日数を達成したグループに対して安全表彰を行ってまいりました。さらなる安全啓発を図るべく、2018 年 1 月より中央労働災害防止協会主催の中小企業無災害記録証授与制度を活用しています。その結果、福山工場（従業員数 46 名）で 2025 年 10 月に第 3 種記録（無災害記録日数 2,400 日）を樹立し、中央労働災害防止協会より記録証が授与されました。



事業活動における環境配慮への取り組み

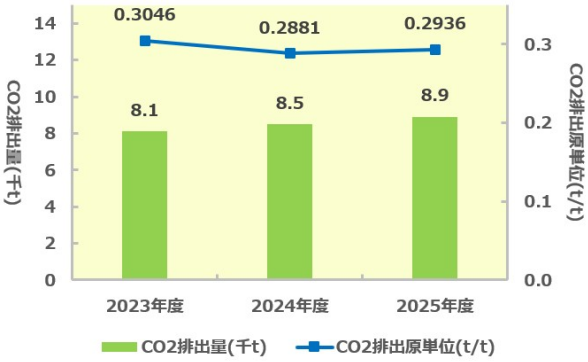
＞＞＞エネルギー原単位

2025 年度は高エネルギー使用製品群の生産増により、エネルギー原単位が前年度比 1.8%増加しました。



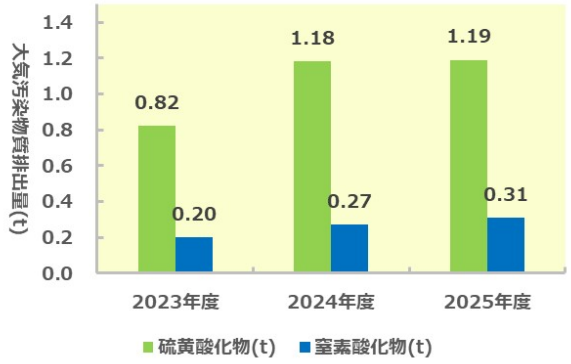
＞＞＞CO_2 排出原単位

2025 年度は事業活動の状況変化に伴い、CO2 排出原単位が前年度比 1.9%増加しました。



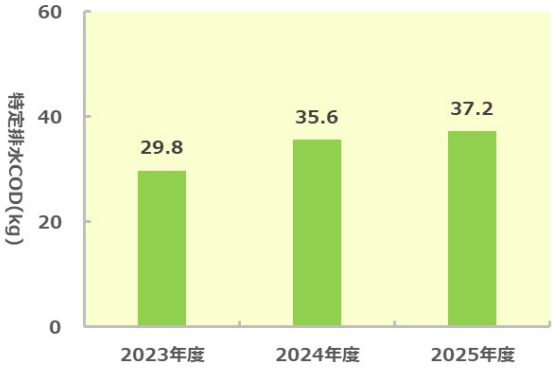
＞＞＞大気汚染物質の排出量

2025 年度の硫黄酸化物排出量は前年度比 0.8%増加、窒素酸化物排出量は前年度比 14.8%増加しました。



＞＞＞特定排水 COD 負荷量

2025 年度の化学的酸素要求量（COD）負荷量は、前年度比 4.5%増加しました。



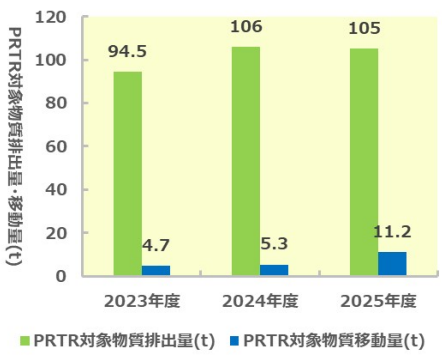
＞＞＞産業廃棄物排出原単位

2025 年度は生産品目構成の変化に伴い、排出量が前年度比 11.4%、排出原単位が 7.8%増加しました。



＞＞＞PRTR*対象物質の排出・移動量

2025 年度の排出量は前年度比 0.9%減少しました。移動量は前年度比 109.6%増加しました。

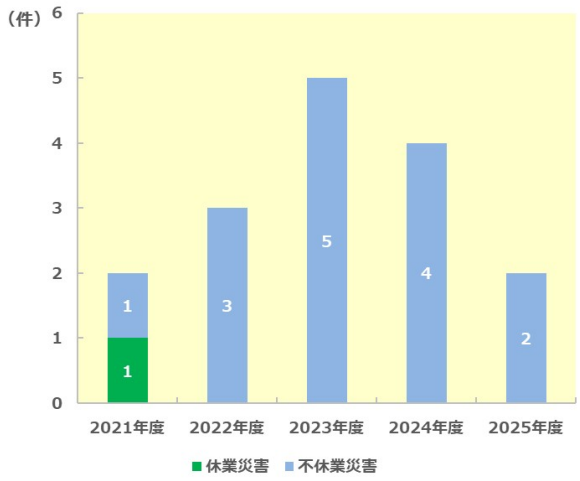


＊ PRTR： 人の健康や生態系に有害なおそれのある化学物質が、事業所から環境（大気、水、土壌）へ排出される量および廃棄物に含まれて事業所外へ移動する量を、事業者が自ら把握し国に届け出をし、国は届出データや推計に基づき、排出量・移動量を集計・公表する制度です。

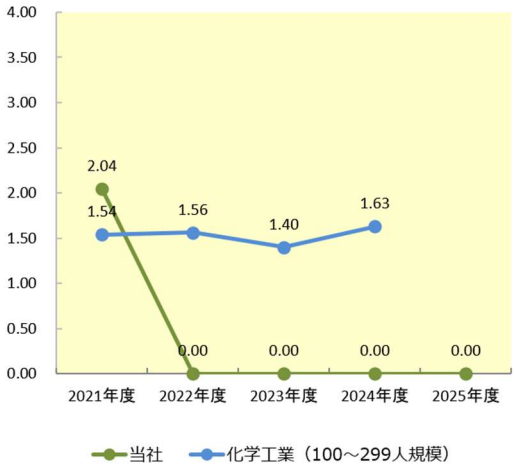
安全衛生への取り組み

従業員の安全衛生に関するリスクを評価し、安全を最優先に事業活動を行っています。また、メンタルヘルス基本方針を定め、従業員一人ひとりの心身の健康が、会社の成長と発展につながる基盤であることを認識し、メンタルヘルスケアの確立及び改善に取り組み、従業員が心身ともに健康を維持し活力に満ちて働くことができる職場環境の確保に努めます。メンタルヘルス不調予防のためにストレスチェックを導入するなど、安全・健康そして快適な職場づくりに取り組んでいます。

＞＞＞労働災害発生件数の推移



＞＞＞休業災害度数率の推移



※度数率は、100 万延べ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数で、災害発生の頻度を表す。

$$\text{度数率} = \frac{\text{労働災害による死傷者数}}{\text{延べ実労働時間数}} \times 1{,}000{,}000$$

※出典：厚生労働省「労働災害動向調査」の「用語の解説」（６）項アから引用

＞＞＞安全衛生・環境に関する資格の保有者数

安全衛生・環境に関わる必要な資格の積極的な取得に努めています。

法的に定められた選任者は充足していますが、新入社員をはじめとした若手従業員を中心に資格取得の推進を図り、スキルアップにつなげています。

資格名称	2025年度保有者数※（延べ人数）
公害防止管理者	9
エネルギー管理士	14
衛生管理者	28
ボイラー技士・整備士	41
危険物取扱者	153
消防設備士	27
高圧ガス製造保安責任者	43

COLUMN

従業員の心と体の健康維持・改善のため、健康診断・特定業務健診およびストレスチェックを実施しています。その他に産業医による衛生講話、メンタルヘルスケアに関する教育などの活動に取り組んでいます。

産業医による衛生講話



（鵜飼工場）